

# CNC画像測定機 クイックスコープシリーズ

## QSPAKツール追従不具合 /レンズキャリブレーションについて

# 概要

QSPAKで点、線など一画面でおさまらない測定時に測定点取得後、測定を完了せずテーブルを移動させると正常な場合は測定点が境界線に張り付いたまま画像に追従します。

しかしソフトや本体に異常をきたしている場合、測定点が追従しないことがあります。

ここではそのような現象が起きた際に確認していただく内容と解消の方法をご説明いたします。



# 確認するためにご準備いただくもの

・校正用チャート(検査成績書が付属され各寸法の値付けがわかるもの)

※校正用チャートをお持ちでない場合、現象を解消するための作業ができませんので弊社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

またここでは熟知した方を対象とするため基本操作の説明は除外いたします。



## Point

・毛羽立ちの少ないシートにアルコールを含ませ校正用チャートの表面を拭きムラができないように清掃する。

# 確認フロー

## ①ズーム変倍動作確認。

正常に変倍するか確認し動いていないようであればズームユニットの故障となります。



## ②一画面内寸法確認。

校正用チャートをテーブルに置き一画面に収まる最大サイズのチャートの距離を測定。正常な値が出るか確認。



## ③必要に応じ各倍率のレンズのピクセルキャリブレーション作業実施。



## ④レンズのズームオフセットキャリブレーション作業実施。(※ズーム機対応)



## ⑤QSPAKを一度落とし再起動。 再度現象の有無を確認ください。

### Point:

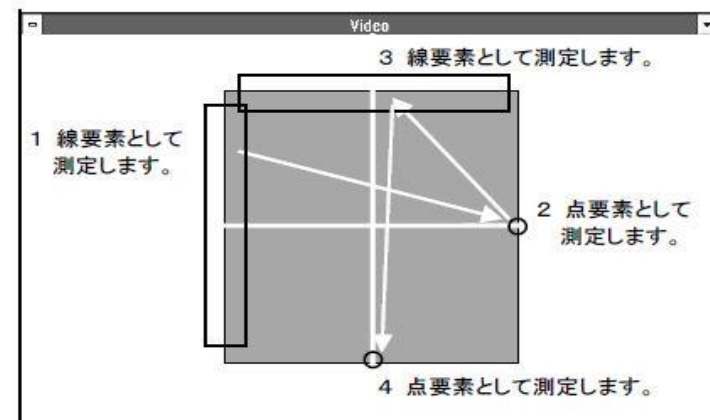
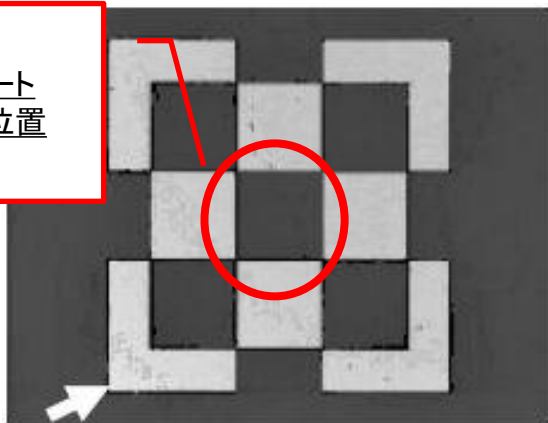
- ①ビデオウインドウに測定物を表示させ変倍することでサイズが変わるかどうか確認ください。サイズが変わらず光量だけ変化する場合はズームユニットの故障となります。
- ②校正用チャートを距離測定することでレンズ設定の異常が判断できます。測定値が異常な場合③レンズキャリブレーション作業を実施することで改善される可能性があります。変倍後再度倍率を戻し同じサイズを測定した場合に正常値が出れば設定の問題ですが異常値が出た場合ズームユニットの故障となります。

# ピクセルキャリブレーションについて～1

○ピクセルキャリブレーションは1画素(ピクセル)の値付けを行う作業です。

- ①サチュレーション機能を使用し落射の光量を調整。  
(境界線が黄色くならない光量から1～2%下げた程度が適正。)
- ②キャリブレーションをかけたい倍率にて校正用チャートの測定位置が一画面に一番大きく映るチャートを映します。  
(例/変倍率3.5倍の時チャート位置0.8mm)
- ③ファンクションアイコン“M1”を押し指示に従い測定。

測定箇所はチャート  
検査成績書 A,B位置



# ピクセルキャリブレーションについて～2

④測定後、校正用チャートの検査成績書に記載されている校正値を入力。



⑤再度距離測定にてチャートサイズと大きな差異がないことを確認。

※ズーム対応機は後述のズームキャリブレーションを引き続き実施

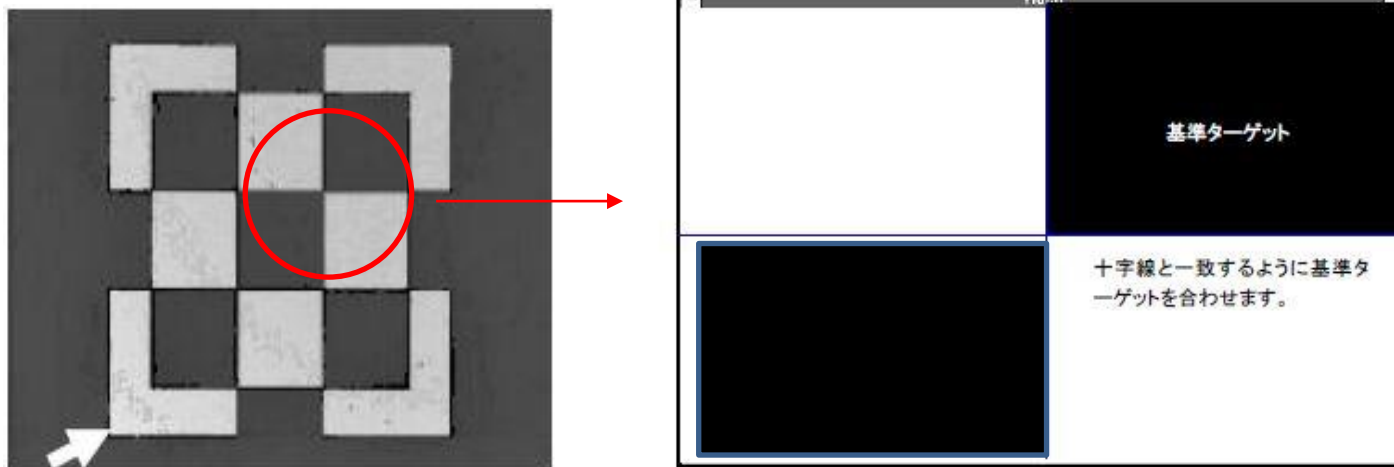
⑥QSPAK再起動しピクセルキャリブレーションの終了となります。

# ズームオフセットキャリブレーションについて～1

○ズームレンズの倍率を切り替えると中心位置のイメージ(見た目)がわずかにずれるためズレ量を専用プログラムを実行して補正をかけます。

①校正用チャート4mmの交点位置を基準ターゲットとし最大倍率(3.5倍)で画面中央に映します。

(下図参照)



# ズームオフセットキャリブレーションについて～2

②画面中央をXYZの原点設定。

③メニューの【ファイル】【開く】【パートプログラム】

QSシリーズ C:/ProgramFiles/QSPAK/Calib/zoomcal.pp

QS-L/AFシリーズ C:/ProgramFiles/QSPAK/Calib/zoomcalm.pp

④メニューの【プログラム】【実行】していただくとQSシリーズは自動で、QS-L/AFシリーズはツールの自動貼付後【DATA】ボタンを押していくことでプログラムが実行されます。

⑤QSPAK再起動しズームオフセットキャリブレーションの終了となります。



# ご案内

本作業内容で改善しない場合は、恐れ入りますが弊社  
カスタマーサポートセンターまでご連絡をお願いいたします